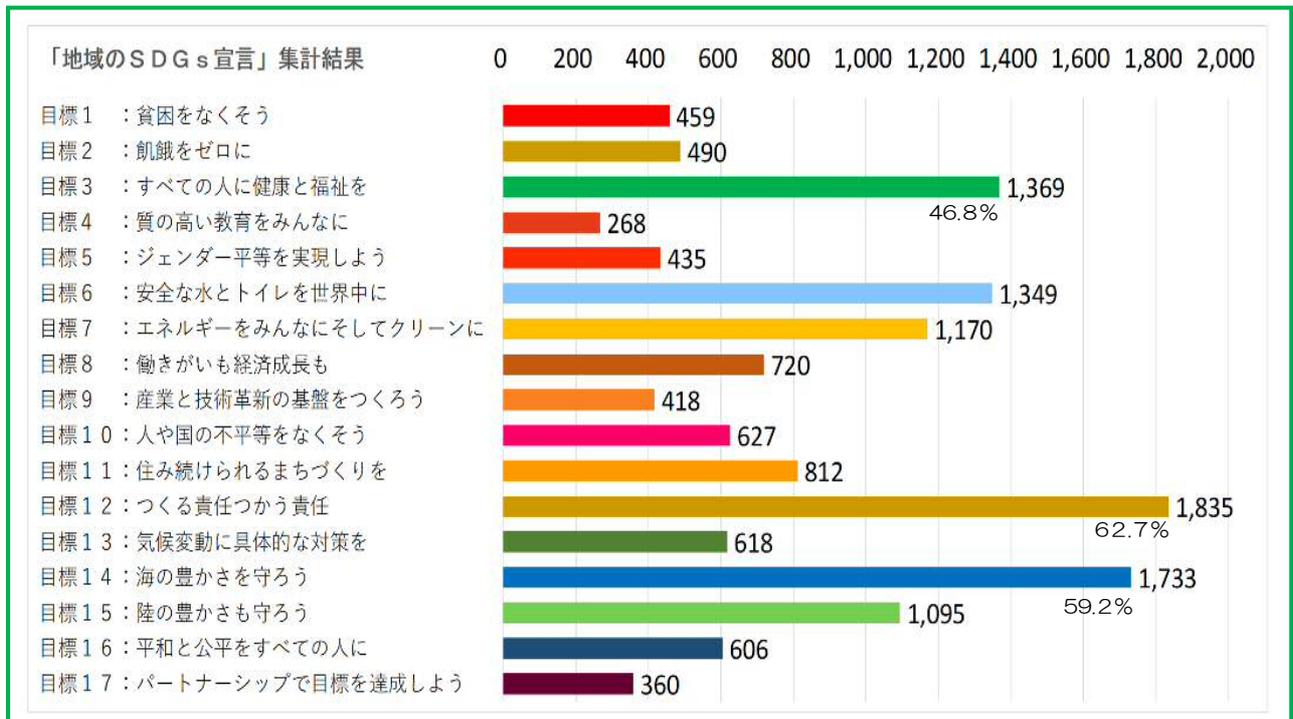


「地域のSDGs宣言」集計結果



※提出者数：2,927人

＜上位3つの目標＞

- 1位：【目標12：つくる責任つかう責任】
- 2位：【目標14：海の豊かさを守ろう】
- 3位：【目標3：すべての人に健康と福祉を】

- SDGsの本格化には、地域（市町や事業所・団体、コミュニティなど）の関与が不可欠であることを踏まえ、地域で取組んでいきたい目標を「地域のSDGs宣言」として宣言いただいた。さらに、具体的に取組みたい、または地域に取組んでもらいたい声を集めた。
- 最も多かったのは【目標12：つくる責任つかう責任】で62.7%の方が選択した。具体的な声として「リサイクルボックスをスーパーやドラッグストア以外の多くの場所に設置して欲しい」や「食品ロスの削減に取り組む」などが挙げられた。リサイクルやリユース、食品ロス問題など日常生活に深く関わりのあることへの関心は高く、また、地域に対しても身近な問題に取り組むことを望んでいることが窺えた。
- 2番目は【目標14：海の豊かさを守ろう】（59.2%）で、「地域全体でプラスチックの代替品を積極的に活用する」や「海岸を清掃するイベントを定期的に関催して欲しい」などの声が挙げられた。
- 3番目は【目標3：すべての人に健康と福祉を】（46.8%）で、「交通事故削減に向けた対策の充実（事故多発場所の周知やミラーの設置など）」や「子ども達が安心してより暮らしやすい環境をつかって欲しい」などの声が挙げられた。
- 男女別に見ると、女性の1位は【目標12】（女性全体の67.6%）、2位は【目標14】（同61.5%）、男性の1位は【目標14】（男性全体の53.9%）、2位は【目標12】（同48.9%）と上位回答は同じとなったが、女性がこれらの目標を選択する割合が高く、意識の高さが窺えた。
- その他具体的な声には、「差別がなくなるよう子ども達へジェンダー教育をして欲しい」、「従業員やその家族に対して健康診断を勧めていく」、「地域全体で残業削減（ノー残業デーの実施など）に向けた取組みを強化して欲しい」、「地域の人口に対して災害時の安全な場所が少ないので避難場所を増やして欲しい」、「地元企業の製品・お店を積極的に使いたい」、「子どもたちが安心して登下校できるよう見守り活動を行う」などの声が寄せられた。